



大勢の観客を前に、武雄市役所新庁舎で披露された竿燈まつりの妙技＝12日午後8時23分、武雄市（撮影・山田宏一郎）

秋田竿燈 武雄で輝く

国重要無形民俗文化財で東北三大祭りのひとつの「秋田竿燈まつり」の竿燈妙技が12日夜、武雄市で披露された。提灯を提げた竿燈が夜の闇に黄金色に輝き、8万人（市発表）の観衆が治道を埋め尽くした。

笛や太鼓が響く武雄町の中心街に、竹を十字に組み48個の提灯を提げた竿燈5本が場所を移しながら次々に立った。はんとん姿の秋田市竿燈会の男衆が、稲穂に見立てた高さ12尺、重さ50ポンドの竿燈を額や肩、腰に移し載せると、巧みな技に拍手が沸き起こった。

治道からは「アッ！アッ！

25年ぶり 戊辰戦争が縁、熱く交流

よー、どっこいしょーの掛け声上がり、竿がしなっと倒れそうになると「うあー」と怖がる声も。妙技が終わると、次々に「ありがとう」の声が飛んだ。

治道は身動きも取れないほど混雑した。長崎県大村市から来た田中裕子さん（60）は「倒れそうで倒れないところがいい。本当にきれい」と感動した様子だった。

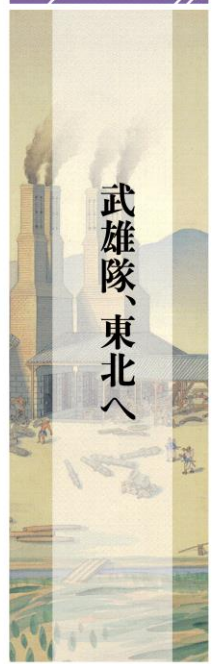
武雄市と秋田市は、戊辰戦争（1868年）で秋田藩の援軍として出征した武雄の兵士の墓が、秋田に残っていたことが縁で交流している。竿燈まつりは武雄市が明治維新150年の記念行事として招へいた。武雄での披露は1993年以来2度目となった。

（小野靖久）

さが 維新前夜

48

武雄隊、東北へ



明治維新 150年 1868-2018

秋田に援軍窮地救う

秋田市の中心部から車で10分、小高い丘の上に「藩墓苑」と名付けられた墓苑がある。ここは戊辰戦争で秋田藩の藩士が戦い、命を落とした佐賀藩士が眠っている。

墓苑は秋田藩の藩士が戦死した3人の遺体を佐賀の方向に向けて埋葬していた。市民の手で整備された墓苑の跡には、秋田での戦闘で亡くなった佐賀藩士54の名が刻まれ、慰霊祭が毎年行われている。

「彼らは秋田を窮地に救ってくれ

た。秋田歴史研究会の菅原さん(68)らが、こう語り継ぐ。発端になった出来は、慶應4(1868)年7月に起きた。

新政府軍は、抵抗する庄内藩、現在の山形県への征伐を計画していた。奥

羽越えの九条藩は7月に秋田藩を助ける。征討の要求を求めた。同時に、仙台藩の使者も来訪し、奥羽列藩連の同盟を求めた。

新政府軍側につくべきが、秋田藩とのつながりを優先すべきか、秋田藩内の意見はまとまらないうちに、藩の首魁が庄内藩の和を九条藩に誘った。逆進軍を強いる。追迫される。これに刺激された藩内の藩派が仙台藩の使者を誘い、秋田藩に後援りできなくなり、列藩同盟から離脱

わると、藩を主体とする新政府軍は討伐に切り、列藩同盟は行きまじりつた。

庄内藩は、次々州征伐を拒絶。新政府軍の東北を正面から軍を推し、戊辰戦争後は新政府軍に加入して、装備が旧式の秋田の軍勢は弱く、北進を始めた。

状況を見かねた、新政府がてにしたのが佐賀藩だった。中でも、西洋砲の導入を主とした佐賀藩主 茂昌への期待は高かった。茂昌は京

居城、久保田城を自衛した。武雄隊はアームストロング砲など、砲門を備えた兵力で対抗して、茂昌は、武雄隊を召喚する金約3000人の指図を任せられた。他藩からの増兵にも支えられ、持っていたという、米沢、仙台藩など列藩同盟の諸藩が新政府軍に降伏した。孤立を求めた庄内藩は引き、9月下旬、会津藩に降伏して降伏した。

五代化を推し進めてきた佐賀藩に

天尾(津藩)、錦の御旗を授かる異例の対応を待っている。

武雄隊約800人が秋田に到着した。8月10日、庄内軍は秋田の藩邸を攻撃した。現在の秋田県西部の平沢で庄内軍とぶつかった武雄隊は、不慣れた土地での戦いに苦しめ、激しい風雨と退却を余儀なくされた。庄内軍は勢いづき、秋田藩主佐竹氏の

とつて戊辰戦争は、蓄えてきた軍事力を試す場であると同時に、試される場でもあった。武雄市図書館、歴史資料館の学芸員川副義典さん(62)はこう話す。「軍の戦いが新政府内での存在感を高めることにつながった。細中さんは秋田の側から、佐賀藩の活力を想像する。秋田藩主

「上総殿(茂昌)が率いた兵隊はよほどの強兵であり、東京に引き止めるべきとの意見があった」

武雄隊を政府軍に当たらせようという意思があり、帰路につく日程が延期された。それでも茂昌は帰国を願い出て、11月下旬に船を品川を出航した。武雄に帰還すると、武雄神社に参拝して勝ちどきを上げたという。

■次回へ、新政府軍と旧藩軍が最後、戦いを交えた「箱館戦争」を取り上げます。

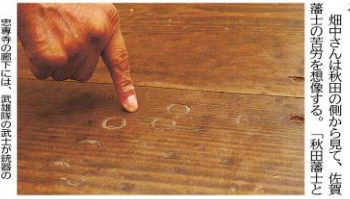
* 文・写真 江島 豊之



秋田での戦いで犠牲になった佐賀藩士が眠る藩墓苑について説明する菅原忠さん＝秋田県秋田市



武雄隊を召喚した佐賀藩主佐竹氏の邸宅



藩邸の跡には、武雄隊の参陣を記念する「武雄隊参陣の跡」が刻まれている

武雄隊テーマに特別展

武雄市図書館、歴史資料館にて、2017年10月10日から12月10日まで開催している「武雄隊参陣の跡」特別展。3、9、17日にキャラクタートークもある(いずれも午後5時)。

慶応4年(1868)7月	秋田藩が仙台藩の使者を殺害し、奥羽列藩同盟を離脱
8月	武雄隊が船で秋田に到着。庄内軍が秋田藩境を突破
明治元年(1868)9月	明治に改元。庄内藩が降伏
11月	鍋島茂昌が天皇に拝謁。武雄隊が武雄に帰還

重刊集・成慶堂

(佐賀新聞 2017.12.2日付)

◎記事から読み取ろう

○なぜ武雄領から秋田へ武雄隊が派遣されたのだろう。

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○秋田では、現在も毎年慰霊祭が執り行われていることについてどう思いますか。